2　地理歴史・公民

学校番号	１００９

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ（後期）	単位数	２単位	年次	２年後期
使用教科書	「新詳地理Ｂ」　（帝国書院）						
副教材等	最新地理図表ＧＥＯ　新版三訂　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の自然環境と、その自然環境に立脚した世界の人々の暮らしがあることを理解する。
・世界各地の地域性を把握し、地域ごとの文化的差異や歴史を理解する。
・現代社会が直面する課題を理解し、国際理解を深めてグローバルな視点を持つ。

2　学習の到達目標

・地理的な諸課題を、地域性や歴史的背景、日常生活と関連付けて地理的思考力を培う。
・現代の諸課題を、自然分野・人文分野の観点から総合的に考察できる。
・地理的な見方や思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の様々な自然環境や社会環境についての関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。	様々な自然環境と社会環境が世界の地域性を形作っていることに注目し、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	様々な地理的事象に関する地図や画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の様々な自然環境や社会環境と人々の生活の関わりについて、基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 ポスター	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
中間まで	現代世界の地誌的考察	・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア	○	 ○ ○	 ○	○ ○	a:各地域の自然環境と生活、文化に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b:各地域の自然環境と生活、文化について日本との類似点と相違点を見出し，日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:各地域の自然環境と生活、文化を表す地図や画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:各地域の自然環境と生活、文化について，基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
期末まで	現代世界の地誌的考察	・アフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	a:各地域の自然環境と生活、文化に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b:各地域の自然環境と生活、文化について日本との類似点と相違点を見出し，日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:各地域の自然環境と生活、文化を表す地図や画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:各地域の自然環境と生活、文化について，基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。